

第 74 回「山形県内家計の消費動向調査」結果

(令和 6 年 12 月調査)

消費マインドは 2 期ぶりに悪化。先行きは慎重姿勢が続く

【調査の要旨】

- **消費指数**は、**▲94.6 (前期比 2.3 ポイント下落)**と 2 期ぶりの悪化となった。内訳は景気判断指数が▲54.7 (前期比 0.8 ポイント下落)、暮らし向き判断指数が▲39.9 (前期比 1.5 ポイント下落)と、ともに 2 期ぶりの悪化となった。
- **今後の見通し**は、**消費指数が▲98.4 (今回調査比 3.8 ポイント下落)**と悪化の見込みとなっている。内訳は景気判断指数が▲55.5 (今回調査比 0.8 ポイント下落)、暮らし向き判断指数が▲42.9 (今回調査比 3.0 ポイント下落)と、ともに悪化の見込みとなっている。
- **大きな買い物**への支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、「自家用車 (中古車含む)」は低下、「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」「住宅リフォーム」「海外旅行」は上昇となった。
- **家計簿調査**は、収入面では可処分所得 (収入の手取り額) が 433 千円と前年同期比で 24 千円の増加となり、支出面では支出計が 412 千円と前年同期比で 20 千円の増加となった。その結果、平均消費性向 (家計支出/可処分所得) は 95.2%となり、前年同期に比べて 0.8 ポイントの低下となった。
- **節約の意識について**尋ねたところ、「かなり意識している」が 49.2%と前年に比べ 5.0 ポイント上昇した一方、「やや意識している」は 3.3 ポイント低下し、46.3%となった。

令和 7 年 1 月

株式会社フィデア情報総研

目次

I.	消費指数（総括）	1
II.	消費指数（内訳）	3
1.	景気判断	3
（1）	景気判断の概況	3
（2）	景気判断の推移	4
2.	暮らし向き判断	5
（1）	暮らし向き判断の概況	5
（2）	暮らし向き判断の推移	6
III.	支出意向	7
（1）	支出意向DIの推移	7
（2）	支出意向（大きな買い物）の推移	8
IV.	家計簿調査	9
V.	特別調査	11
1.	節約の意識について	11
（1）	節約の意識について	11
（2）	節約を意識している理由	12
（3）	節約を特に意識する出費	14
VI.	調査の概要	15

I. 消費指数（総括）

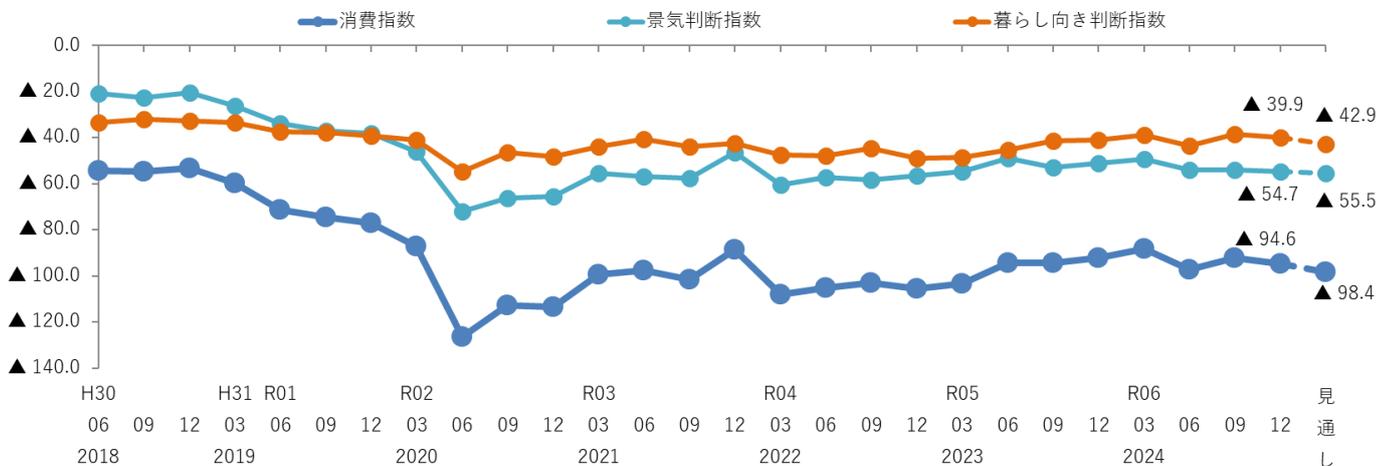
～消費マインドは 2 期ぶりに悪化。先行きは慎重姿勢が続く～

消費指数は▲94.6（前期比 2.3 ポイント下落）と 2 期ぶりの悪化となった。内訳は景気判断指数が▲54.7（前期比 0.8 ポイント下落）、暮らし向き判断指数が▲39.9（前期比 1.5 ポイント下落）と、ともに 2 期ぶりの悪化となった。

今後の見通しについては、消費指数が▲98.4（今回調査比 3.8 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。内訳は景気判断指数が▲55.5（今回調査比 0.8 ポイント下落）、暮らし向き判断指数が▲42.9（今回調査比 3.0 ポイント下落）と、ともに悪化の見込みとなっている。

物価高が続くなか、特に食料品や日用品の値上げが家計の負担増加につながっており、日常生活における節約志向は依然強い。回答者からは「賃金の上昇が物価の上昇に追いついていない」とするコメントが複数寄せられた。先行きは、さらなる物価上昇や増税、社会保険料の引き上げ等への懸念や不安感から慎重姿勢が続く見通しとなっている。国内外の社会情勢の変化が雇用環境、所得環境に与える影響について、今後も注意深く見ていく必要がある。

図表 1 消費指数の推移



【指数の見方】

消費指数は（1）景気判断指数（景気・雇用環境・物価の3項目で構成）と（2）暮らし向き指数（世帯収入・保有資産・お金の使い方・暮らしのゆとりの4項目で構成）の合計からなり、値は200～▲200の範囲をとります。指数がプラスであれば家計の消費マインドは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば、消費マインドは低迷していると判断します。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。

図表 2 消費指数（内訳）の推移

消費指数

調査時期	消費指数	(1) 景気判断指数							(2) 暮らし向き判断指数				
		①景気			②雇用環境		③物価	④世帯収入		⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり	
02年	9月	▲ 112.9	▲ 66.3	▲ 23.0	▲ 21.6	▲ 21.7	▲ 46.6	▲ 11.5	▲ 11.0	▲ 11.0	▲ 13.1		
	12月	▲ 113.6	▲ 65.4	▲ 23.5	▲ 23.4	▲ 18.5	▲ 48.2	▲ 12.7	▲ 11.5	▲ 10.7	▲ 13.3		
03年	3月	▲ 99.4	▲ 55.5	▲ 18.2	▲ 18.5	▲ 18.8	▲ 43.9	▲ 10.6	▲ 9.5	▲ 11.9	▲ 11.9		
	6月	▲ 97.7	▲ 56.9	▲ 17.8	▲ 17.4	▲ 21.7	▲ 40.8	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 11.7		
	9月	▲ 101.6	▲ 57.6	▲ 17.8	▲ 15.9	▲ 23.9	▲ 44.0	▲ 10.2	▲ 9.7	▲ 12.0	▲ 12.1		
	12月	▲ 88.7	▲ 46.4	▲ 11.7	▲ 10.4	▲ 24.3	▲ 42.3	▲ 10.6	▲ 8.9	▲ 10.5	▲ 12.3		
04年	3月	▲ 108.0	▲ 60.4	▲ 18.2	▲ 14.5	▲ 27.7	▲ 47.6	▲ 11.3	▲ 10.9	▲ 12.0	▲ 13.4		
	6月	▲ 105.3	▲ 57.3	▲ 16.5	▲ 11.6	▲ 29.2	▲ 48.0	▲ 11.3	▲ 12.4	▲ 10.4	▲ 13.9		
	9月	▲ 103.2	▲ 58.5	▲ 16.6	▲ 12.0	▲ 29.9	▲ 44.7	▲ 10.8	▲ 10.3	▲ 10.3	▲ 13.3		
	12月	▲ 105.5	▲ 56.7	▲ 15.9	▲ 10.7	▲ 30.1	▲ 48.8	▲ 11.4	▲ 12.0	▲ 10.5	▲ 14.9		
05年	3月	▲ 103.4	▲ 54.7	▲ 15.0	▲ 9.8	▲ 29.9	▲ 48.7	▲ 10.4	▲ 11.8	▲ 10.7	▲ 15.8		
	6月	▲ 94.3	▲ 49.0	▲ 11.3	▲ 7.7	▲ 30.0	▲ 45.3	▲ 9.7	▲ 10.4	▲ 10.6	▲ 14.6		
	9月	▲ 94.5	▲ 53.1	▲ 13.0	▲ 9.2	▲ 30.9	▲ 41.4	▲ 10.0	▲ 8.5	▲ 8.3	▲ 14.6		
	12月	▲ 92.2	▲ 51.0	▲ 12.1	▲ 9.5	▲ 29.4	▲ 41.2	▲ 10.3	▲ 9.0	▲ 7.9	▲ 14.0		
06年	3月	▲ 88.1	▲ 49.4	▲ 12.0	▲ 8.6	▲ 28.8	▲ 38.7	▲ 8.7	▲ 7.9	▲ 8.8	▲ 13.3		
	6月	▲ 97.4	▲ 53.9	▲ 14.3	▲ 10.1	▲ 29.5	▲ 43.5	▲ 9.8	▲ 9.1	▲ 9.2	▲ 15.4		
	9月	▲ 92.3	▲ 53.9	▲ 14.9	▲ 9.6	▲ 29.4	▲ 38.4	▲ 7.8	▲ 8.8	▲ 8.7	▲ 13.1		
	12月	▲ 94.6	▲ 54.7	▲ 13.7	▲ 10.3	▲ 30.7	▲ 39.9	▲ 8.9	▲ 8.7	▲ 8.2	▲ 14.1		
07年	見通し	▲ 98.4	▲ 55.5	▲ 15.2	▲ 11.0	▲ 29.3	▲ 42.9	▲ 10.0	▲ 8.8	▲ 10.2	▲ 13.9		

(前期差)

調査時期	消費指数	(1) 景気判断指数							(2) 暮らし向き判断指数				
		①景気			②雇用環境		③物価	④世帯収入		⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり	
02年	9月	13.7	5.6	2.1	3.7	▲ 0.2	8.1	1.3	2.6	2.1	2.1		
	12月	▲ 0.7	0.9	▲ 0.5	▲ 1.8	3.2	▲ 1.6	▲ 1.2	▲ 0.5	0.3	▲ 0.2		
03年	3月	14.2	9.9	5.3	4.9	▲ 0.3	4.3	2.1	2.0	▲ 1.2	1.4		
	6月	1.7	▲ 1.4	0.4	1.1	▲ 2.9	3.1	0.6	0.4	1.9	0.2		
	9月	▲ 3.9	▲ 0.7	0.0	1.5	▲ 2.2	▲ 3.2	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 2.0	▲ 0.4		
	12月	12.9	11.2	6.1	5.5	▲ 0.4	1.7	▲ 0.4	0.8	1.5	▲ 0.2		
04年	3月	▲ 19.3	▲ 14.0	▲ 6.5	▲ 4.1	▲ 3.4	▲ 5.3	▲ 0.7	▲ 2.0	▲ 1.5	▲ 1.1		
	6月	2.7	3.1	1.7	2.9	▲ 1.5	▲ 0.4	0.0	▲ 1.5	1.6	▲ 0.5		
	9月	2.1	▲ 1.2	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 0.7	3.3	0.5	2.1	0.1	0.6		
	12月	▲ 2.3	1.8	0.7	1.3	▲ 0.2	▲ 4.1	▲ 0.6	▲ 1.7	▲ 0.2	▲ 1.6		
05年	3月	2.1	2.0	0.9	0.9	0.2	0.1	1.0	0.2	▲ 0.2	▲ 0.9		
	6月	9.1	5.7	3.7	2.1	▲ 0.1	3.4	0.7	1.4	0.1	1.2		
	9月	▲ 0.2	▲ 4.1	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 0.9	3.9	▲ 0.3	1.9	2.3	0.0		
	12月	2.3	2.1	0.9	▲ 0.3	1.5	0.2	▲ 0.3	▲ 0.5	0.4	0.6		
06年	3月	4.1	1.6	0.1	0.9	0.6	2.5	1.6	1.1	▲ 0.9	0.7		
	6月	▲ 9.3	▲ 4.5	▲ 2.3	▲ 1.5	▲ 0.7	▲ 4.8	▲ 1.1	▲ 1.2	▲ 0.4	▲ 2.1		
	9月	5.1	0.0	▲ 0.6	0.5	0.1	5.1	2.0	0.3	0.5	2.3		
	12月	▲ 2.3	▲ 0.8	1.2	▲ 0.7	▲ 1.3	▲ 1.5	▲ 1.1	0.1	0.5	▲ 1.0		
07年	見通し	▲ 3.8	▲ 0.8	▲ 1.5	▲ 0.7	1.4	▲ 3.0	▲ 1.1	▲ 0.1	▲ 2.0	0.2		

(前年同期差)

調査時期	消費指数	(1) 景気判断指数							(2) 暮らし向き判断指数				
		①景気			②雇用環境		③物価	④世帯収入		⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり	
02年	9月	▲ 38.3	▲ 29.4	▲ 13.2	▲ 16.2	0.0	▲ 8.9	▲ 1.9	▲ 1.3	▲ 4.2	▲ 1.5		
	12月	▲ 36.5	▲ 27.4	▲ 13.4	▲ 17.8	3.8	▲ 9.1	▲ 3.9	▲ 0.8	▲ 3.0	▲ 1.4		
03年	3月	▲ 12.4	▲ 9.4	▲ 2.6	▲ 8.3	1.5	▲ 3.0	▲ 1.6	2.1	▲ 3.8	0.3		
	6月	28.9	15.0	7.3	7.9	▲ 0.2	13.9	2.8	4.5	3.1	3.5		
	9月	11.3	8.7	5.2	5.7	▲ 2.2	2.6	1.3	1.3	▲ 1.0	1.0		
	12月	24.9	19.0	11.8	13.0	▲ 5.8	5.9	2.1	2.6	0.2	1.0		
04年	3月	▲ 8.6	▲ 4.9	0.0	4.0	▲ 8.9	▲ 3.7	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 0.1	▲ 1.5		
	6月	▲ 7.6	▲ 0.4	1.3	5.8	▲ 7.5	▲ 7.2	▲ 1.3	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 2.2		
	9月	▲ 1.6	▲ 0.9	1.2	3.9	▲ 6.0	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 0.6	1.7	▲ 1.2		
	12月	▲ 16.8	▲ 10.3	▲ 4.2	▲ 0.3	▲ 5.8	▲ 6.5	▲ 0.8	▲ 3.1	0.0	▲ 2.6		
05年	3月	4.6	5.7	3.2	4.7	▲ 2.2	▲ 1.1	0.9	▲ 0.9	1.3	▲ 2.4		
	6月	11.0	8.3	5.2	3.9	▲ 0.8	2.7	1.6	2.0	▲ 0.2	▲ 0.7		
	9月	8.7	5.4	3.6	2.8	▲ 1.0	3.3	0.8	1.8	2.0	▲ 1.3		
	12月	13.3	5.7	3.8	1.2	0.7	7.6	1.1	3.0	2.6	0.9		
06年	3月	15.3	5.3	3.0	1.2	1.1	10.0	1.7	3.9	1.9	2.5		
	6月	▲ 3.1	▲ 4.9	▲ 3.0	▲ 2.4	0.5	1.8	▲ 0.1	1.3	1.4	▲ 0.8		
	9月	2.2	▲ 0.8	▲ 1.9	▲ 0.4	1.5	3.0	2.2	▲ 0.3	▲ 0.4	1.5		
	12月	▲ 2.4	▲ 3.7	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 1.3	1.3	1.4	0.3	▲ 0.3	▲ 0.1		
07年	見通し	▲ 10.3	▲ 6.1	▲ 3.2	▲ 2.4	▲ 0.5	▲ 4.2	▲ 1.3	▲ 0.9	▲ 1.4	▲ 0.6		

II. 消費指数（内訳）

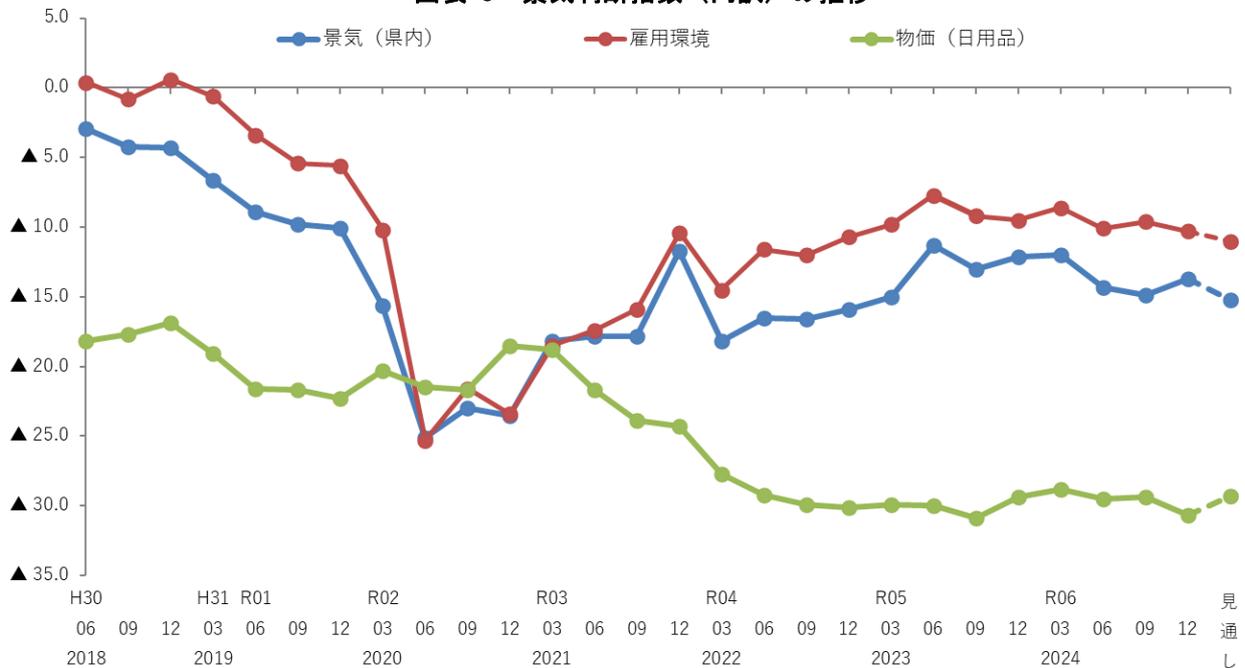
1. 景気判断

(1) 景気判断の概況

景気判断指数は▲54.7（前期比0.8ポイント下落）と2期ぶりの悪化となった。景気判断指数を構成する3つの指数については、「景気（県内）」が▲13.7（前期比1.2ポイント上昇）、「雇用環境」が▲10.3（前期比0.7ポイント下落）、「物価（日用品）」が▲30.7（前期比1.3ポイント下落）と、「景気（県内）」は改善、「雇用環境」と「物価（日用品）」は悪化となった。

今後の見通しについては、▲55.5（今回調査比0.8ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

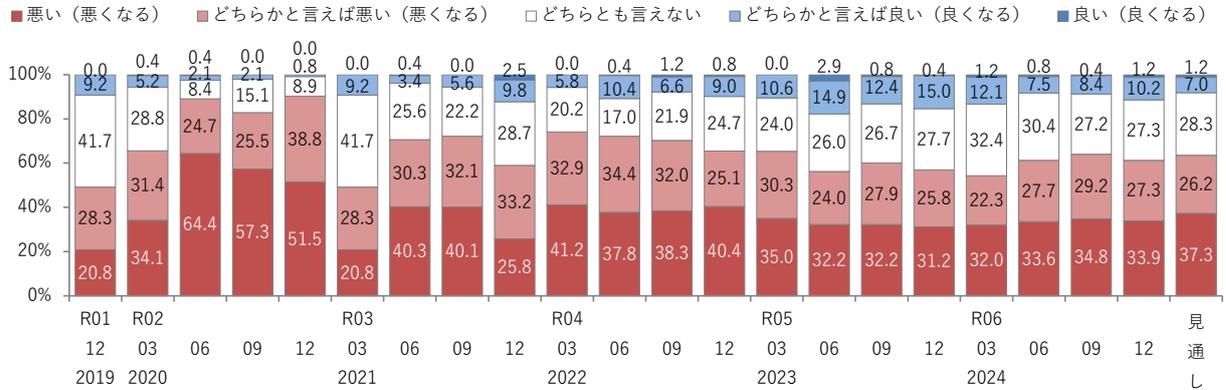
図表3 景気判断指数（内訳）の推移



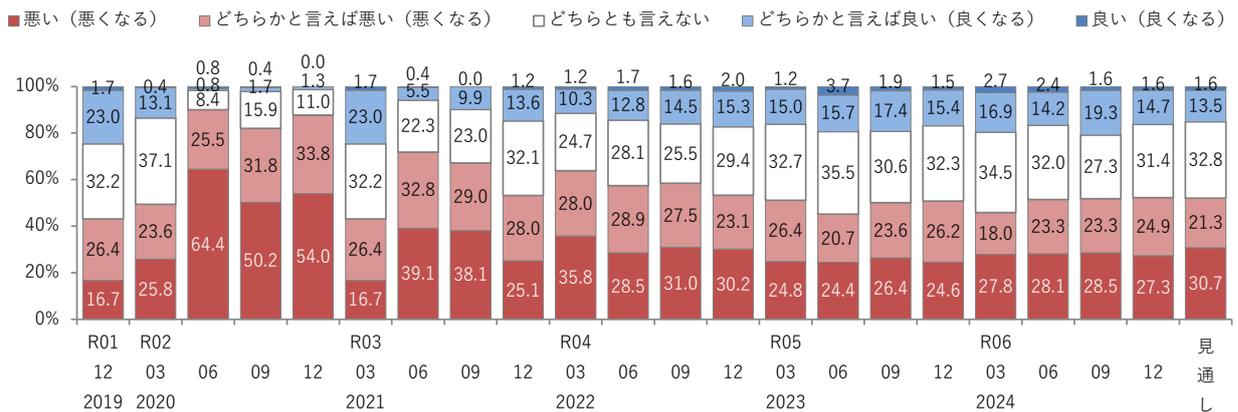
調査時期	景気判断指数		
	景気（県内）	雇用環境	物価（日用品）
05年	6月 ▲49.0	▲11.3	▲30.0
	9月 ▲53.1	▲13.0	▲30.9
	12月 ▲51.0	▲12.1	▲29.4
06年	3月 ▲49.4	▲12.0	▲28.8
	6月 ▲53.9	▲14.3	▲29.5
	9月 ▲53.9	▲14.9	▲29.4
06年 12月	▲54.7	▲13.7	▲30.7
	(前期比)	(▲0.8)	(▲1.3)
	(前年同期比)	(▲3.7)	(▲1.3)
07年	見通し ▲55.5	▲15.2	▲29.3
	(前期比)	(▲0.8)	(▲1.4)

(2) 景気判断の推移

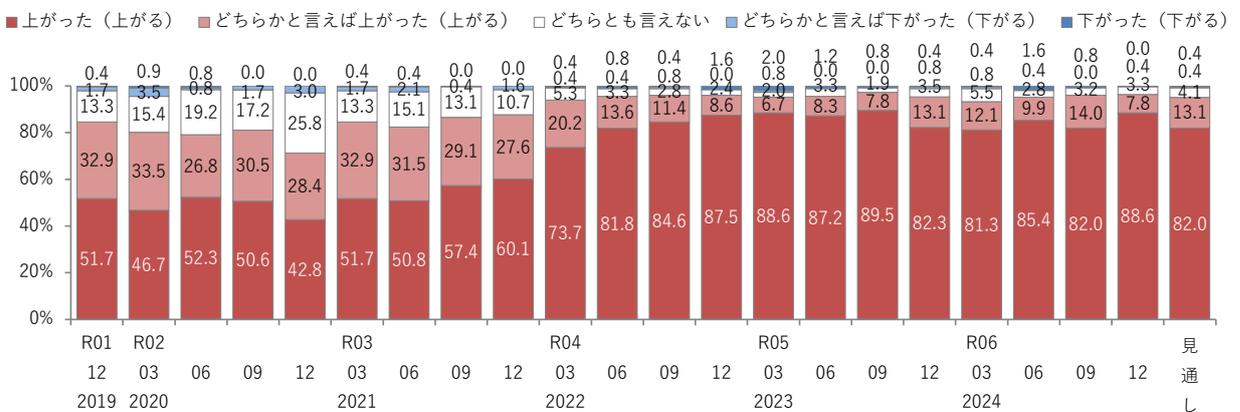
① 景気 (県内)



② 雇用環境



③ 物価 (日用品)



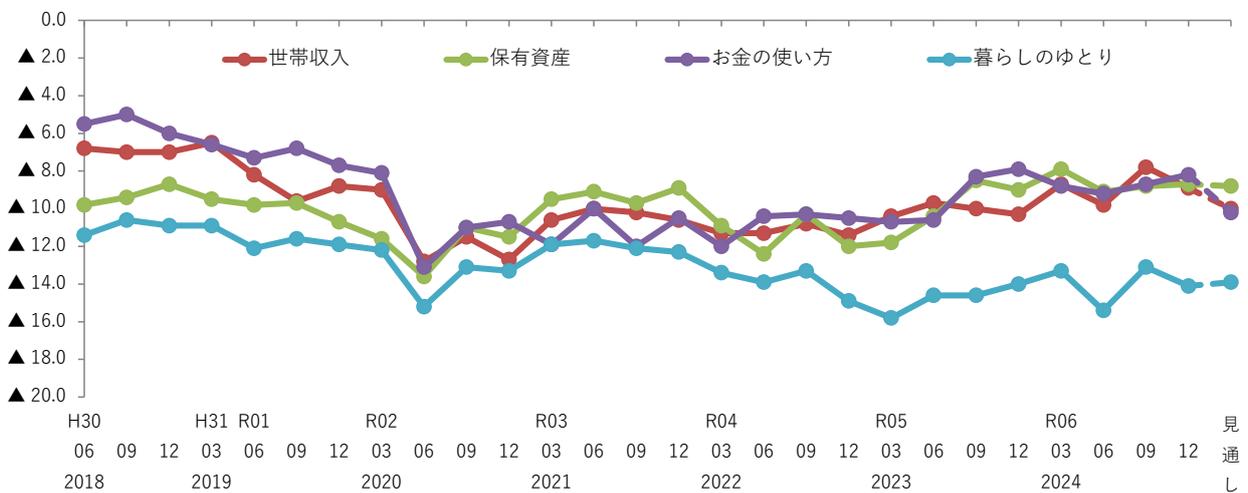
2. 暮らし向き判断

(1) 暮らし向き判断の概況

暮らし向き判断指数は▲39.9（前期比1.5ポイント下落）と2期ぶりの悪化となった。暮らし向き判断指数を構成する4つの指数については、「世帯収入」が▲8.9（前期比1.1ポイント下落）、「保有資産」が▲8.7（前期比0.1ポイント上昇）、「お金の使い方」が▲8.2（前期比0.5ポイント上昇）、「暮らしのゆとり」が▲14.1（前期比1.0ポイント下落）と、「世帯収入」と「暮らしのゆとり」は悪化、「お金の使い方」とは改善、「保有資産」はほぼ横ばいの推移となった。

今後の見通しについては、▲42.9（今回調査比3.0ポイント下落）と悪化が見込まれている。

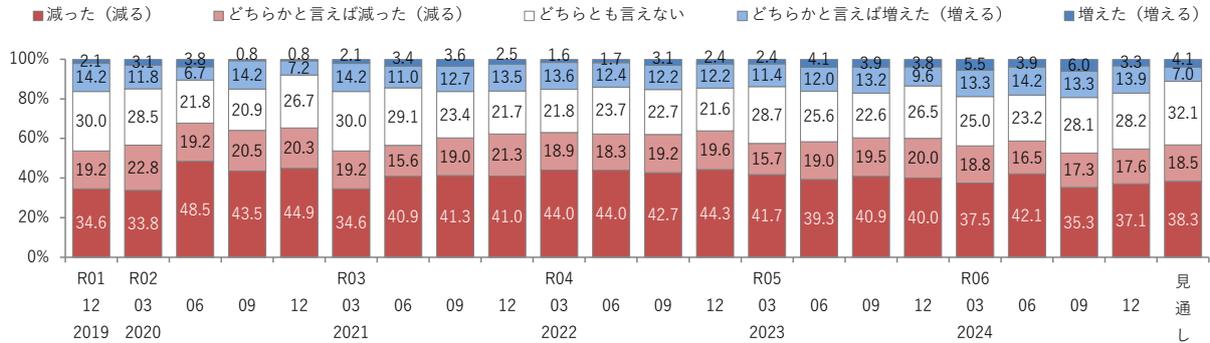
図表4 暮らし向き判断指数（内訳）の推移



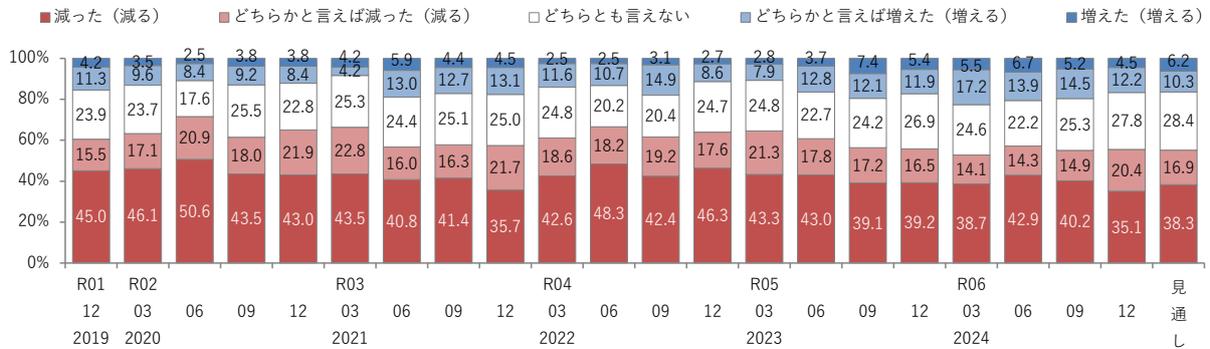
調査時期		暮らし向き判断指数				
		世帯収入	保有資産	お金の使い方	暮らしのゆとり	
05年	6月	▲ 45.3	▲ 9.7	▲ 10.4	▲ 10.6	▲ 14.6
	9月	▲ 41.4	▲ 10.0	▲ 8.5	▲ 8.3	▲ 14.6
	12月	▲ 41.2	▲ 10.3	▲ 9.0	▲ 7.9	▲ 14.0
06年	3月	▲ 38.7	▲ 8.7	▲ 7.9	▲ 8.8	▲ 13.3
	6月	▲ 43.5	▲ 9.8	▲ 9.1	▲ 9.2	▲ 15.4
	9月	▲ 38.4	▲ 7.8	▲ 8.8	▲ 8.7	▲ 13.1
06年	12月	▲ 39.9	▲ 8.9	▲ 8.7	▲ 8.2	▲ 14.1
	(前期比)	(▲ 1.5)	(▲ 1.1)	(0.1)	(0.5)	(▲ 1.0)
	(前年同期比)	(1.3)	(1.4)	(0.3)	(▲ 0.3)	(▲ 0.1)
07年	見通し	▲ 42.9	▲ 10.0	▲ 8.8	▲ 10.2	▲ 13.9
	(前期比)	(▲ 3.0)	(▲ 1.1)	(▲ 0.1)	(▲ 2.0)	(0.2)

(2) 暮らし向き判断の推移

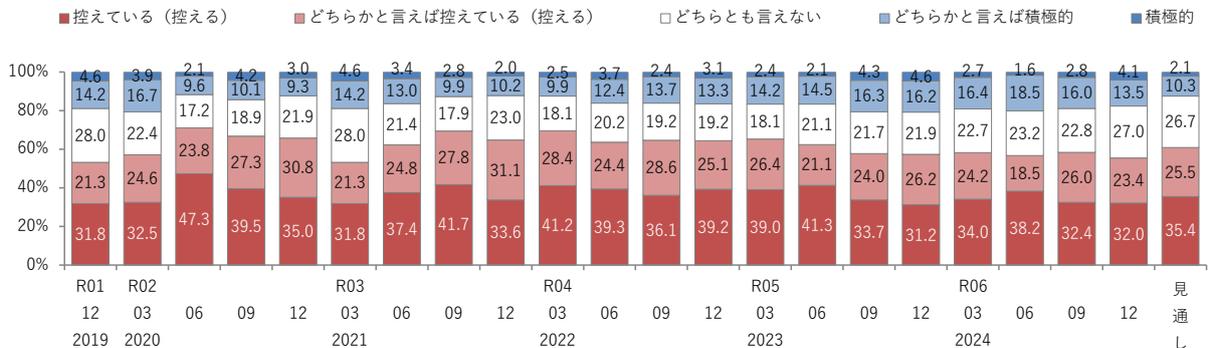
① 世帯（勤労）収入



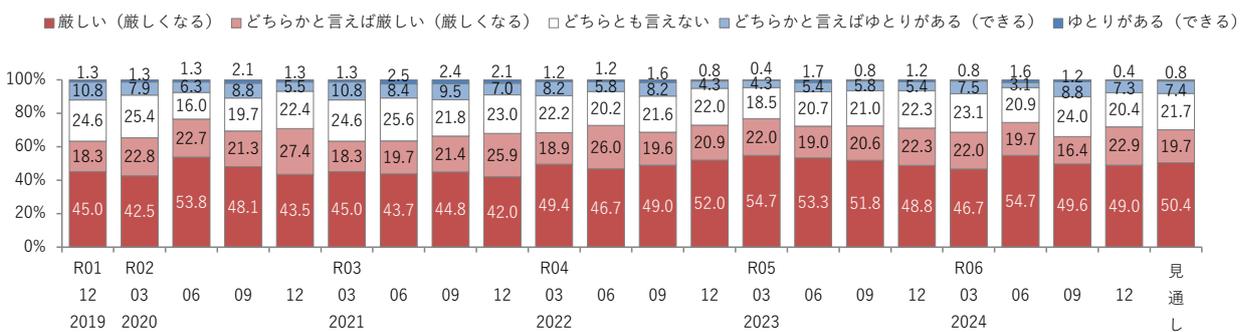
② 保有資産



③ お金の使い方



④ 暮らしのゆとり



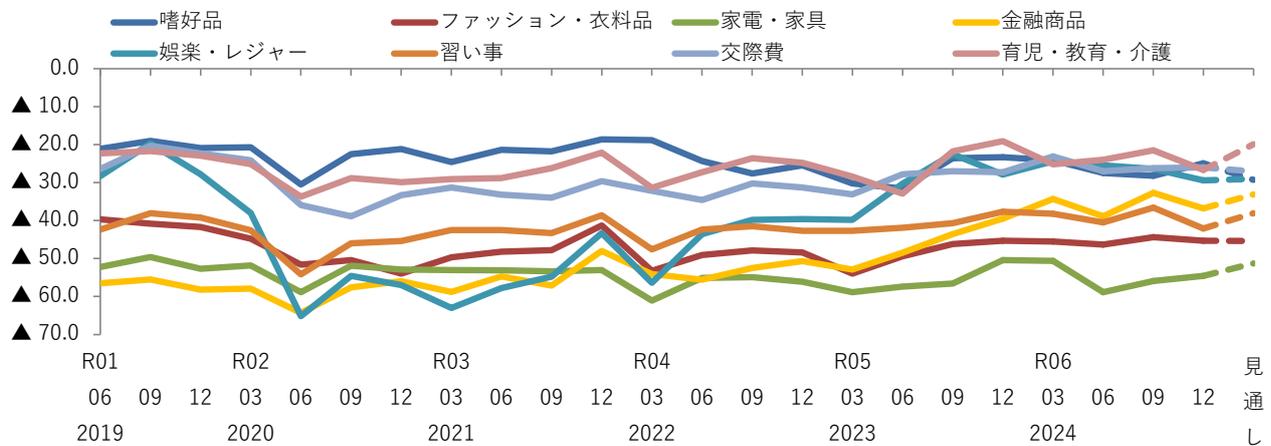
III. 支出意向

(1) 支出意向DIの推移

支出意向DIの平均値は、▲35.7（前期比1.7ポイント下落）と悪化となった。支出意向DIを構成する8つの項目をみると、「嗜好品」や「家電・家具」などの3項目で改善となった一方、「習い事」や「育児・教育・介護」など5項目で悪化となった。

今後の見通しは、▲34.2（今回調査比1.5ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 5 支出意向DIの推移



調査時期	支出意向DI									
		嗜好品	ファッション・衣料品	家電・家具	金融商品	娯楽・レジャー	習い事	交際費	育児・教育・介護	
05年	9月	▲ 35.3	▲ 23.6	▲ 46.2	▲ 56.6	▲ 43.6	▲ 22.5	▲ 40.7	▲ 27.0	▲ 21.8
	12月	▲ 33.8	▲ 23.3	▲ 45.3	▲ 50.4	▲ 39.5	▲ 27.9	▲ 37.7	▲ 27.3	▲ 19.1
06年	3月	▲ 33.2	▲ 24.1	▲ 45.5	▲ 50.6	▲ 34.3	▲ 24.4	▲ 38.2	▲ 23.1	▲ 25.2
	6月	▲ 36.1	▲ 27.5	▲ 46.3	▲ 58.9	▲ 38.9	▲ 25.5	▲ 40.5	▲ 27.0	▲ 24.0
	9月	▲ 34.0	▲ 28.2	▲ 44.4	▲ 55.9	▲ 32.7	▲ 26.4	▲ 36.6	▲ 26.2	▲ 21.5
06年	12月	▲ 35.7	▲ 24.9	▲ 45.3	▲ 54.6	▲ 36.8	▲ 29.4	▲ 42.1	▲ 26.0	▲ 26.7
	(前期比)	(▲ 1.7)	(3.3)	(▲ 0.9)	(1.3)	(▲ 4.1)	(▲ 3.0)	(▲ 5.5)	(0.2)	(▲ 5.2)
	(前年同期比)	(▲ 1.9)	(▲ 1.6)	(0.0)	(▲ 4.2)	(2.7)	(▲ 1.5)	(▲ 4.4)	(1.3)	(▲ 7.6)
07年	見通し	▲ 34.2	▲ 29.3	▲ 45.4	▲ 51.3	▲ 33.1	▲ 29.0	▲ 38.1	▲ 27.1	▲ 19.9
	(前期比)	(1.5)	(▲ 4.4)	(▲ 0.1)	(3.3)	(3.7)	(0.4)	(4.0)	(▲ 1.1)	(6.8)

【DI値の見方】

各項目とも、現状判断についてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。

例) 嗜好品DI値

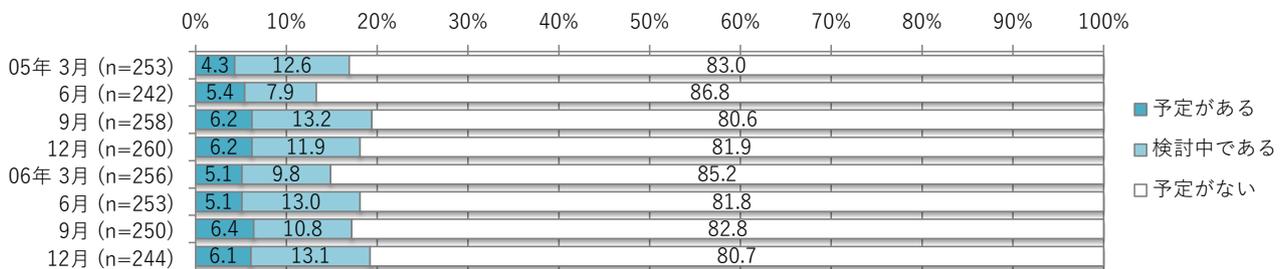
= (「1. 意欲的である」と回答した世帯の割合×1.0+「2. どちらかと言えば意欲的である」と回答した世帯の割合×0.5) - (「3. どちらかと言えば控える」と回答した世帯の割合×0.5+「4. 控えている」と回答した世帯の割合×1.0)

(2) 支出意向 (大きな買い物) の推移

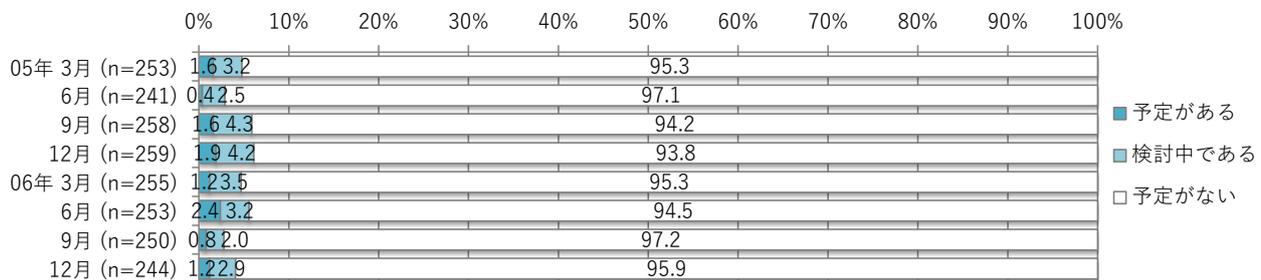
大きな買い物の支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、「自家用車 (中古車含む)」が6.1% (前期比0.3ポイント低下)、「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」が1.2% (前期比0.4ポイント上昇)、「住宅リフォーム」が1.2% (前期比0.4ポイント上昇)、「海外旅行」が1.6% (前期比0.4ポイント上昇)と、「自家用車 (中古車含む)」は低下、「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」「住宅リフォーム」「海外旅行」は上昇となった。

大きな買い物 (支出) に前向きな世帯 (「予定がある」に「検討中である」を合わせた世帯) の割合については、「海外旅行」が低下した一方、「自家用車 (中古車含む)」「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」「住宅リフォーム」は上昇した。

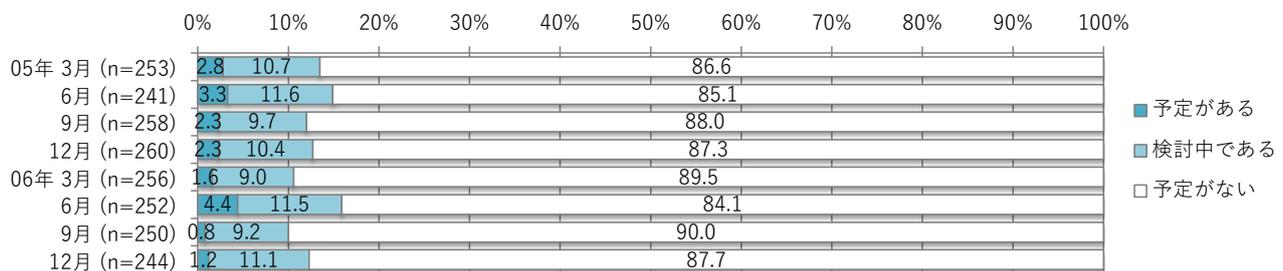
図表 6 自家用車 (中古車含む)



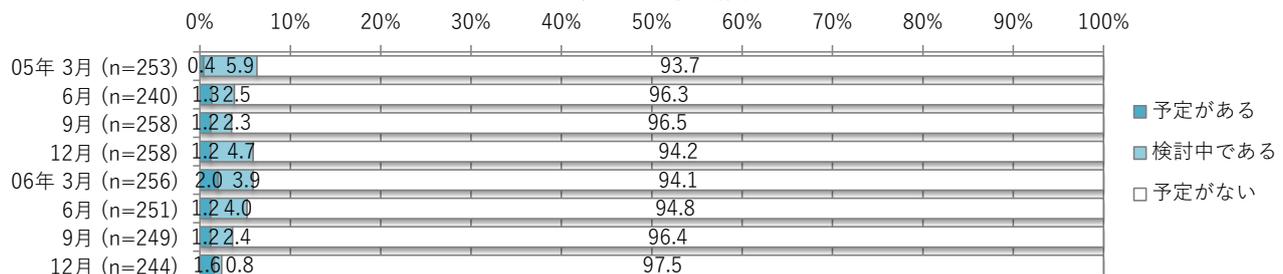
図表 7 住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地



図表 8 住宅リフォーム



図表 9 海外旅行

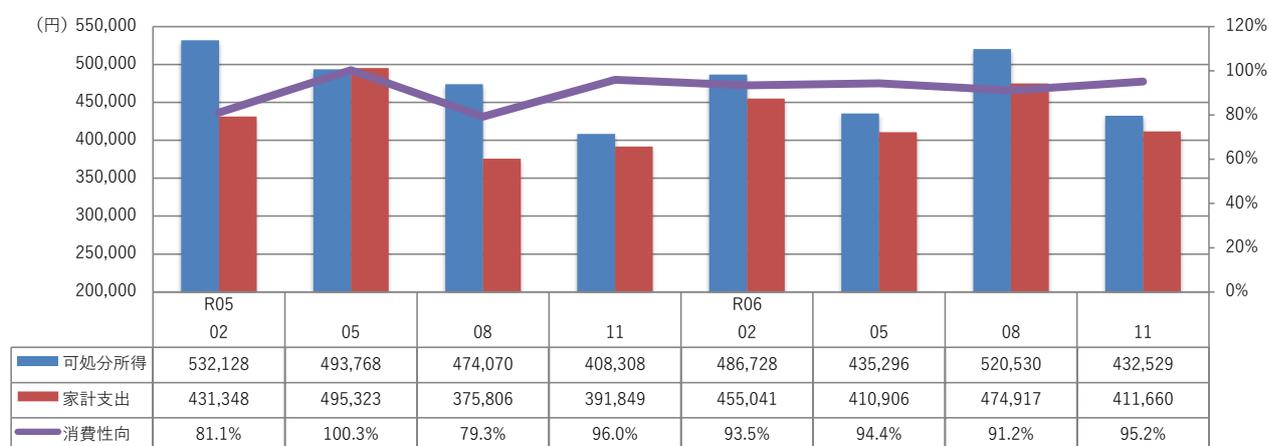


IV. 家計簿調査

図表 10 家計簿 (245 世帯平均)

調査項目		調査年月		(単位: 円)		
		05年 11月	06年 8月	06年 11月	前期比	前年同期比
給 与	世帯主の定例給与《支給額》	330,146	332,583	331,953	▲ 630	1,807
	世帯主の臨時給与《支給額》	5,899	47,127	6,405	▲ 40,722	506
	A. 世帯主の給与《支給額》	336,045	379,710	338,358	▲ 41,352	2,313
	世帯員の定例給与《支給額》	121,932	134,349	137,562	3,213	15,630
	世帯員の臨時給与《支給額》	462	13,504	1,878	▲ 11,626	1,416
	B. 世帯員の給与《支給額》	122,394	147,853	139,440	▲ 8,413	17,046
世帯収入合計 《支給額》 (A+B)		458,439	527,563	477,798	▲ 49,765	19,359
収 入	世帯主の定例給与《手取り額》	259,718	265,328	263,313	▲ 2,015	3,595
	世帯主の臨時給与《手取り額》	4,947	41,724	5,507	▲ 36,217	560
	C. 世帯主の勤労収入合計 《手取り額》	264,665	307,052	268,820	▲ 38,232	4,155
	世帯員の定例給与《手取り額》	100,072	111,192	115,338	4,146	15,266
	世帯員の臨時給与《手取り額》	385	11,619	1,673	▲ 9,946	1,288
D. 世帯員の勤労収入合計 《手取り額》	100,457	122,811	117,011	▲ 5,800	16,554	
世帯勤労収入合計 《手取り額》 (C+D)		365,122	429,863	385,831	▲ 44,032	20,709
(手 取 り 額)	1. 公的年金給付(老齢、障害、遺族年金)	7,404	28,938	7,272	▲ 21,666	▲ 132
	2. 保険給付金(医療、介護、失業保険)	2,885	1,332	3,447	2,115	562
	3. 各種手当(児童手当など)	3,477	5,232	4,449	▲ 783	972
	4. 利息、株式配当、投信配分金	788	1,206	2,561	1,355	1,773
	5. 事業収入(個人事業、農林水産業など)	1,235	520	1,143	623	▲ 92
	6. 不動産収入(駐車場、アパート家賃など)	1,838	1,388	1,335	▲ 53	▲ 503
	7. 有価証券売却・解約金(株、投資信託など)	706	405	6,163	5,758	5,457
	8. 不動産売却(土地、住宅、マンションなど)	0	0	0	0	0
	9. 中古品売却(リサイクルショップなど)	108	407	645	238	537
	10. 保険満期戻金	7,692	3,236	2,449	▲ 787	▲ 5,243
	11. 保険一時金(生命保険、損害保険など)	2,702	394	3,996	3,602	1,294
	12. 相続、贈与、退職金	0	38,000	0	▲ 38,000	0
	13. 祝金、謝礼金、香典など	883	2,410	633	▲ 1,777	▲ 250
	14. 身内からの仕送り	4,923	1,138	1,490	352	▲ 3,433
	15. 借り入れ(カードローン、キャッシング)	1,723	788	7,616	6,828	5,893
	16. その他	6,822	5,273	3,499	▲ 1,774	▲ 3,323
	E. その他収入(控除後)	43,186	90,667	46,698	▲ 43,969	3,512
I. 収入計 (C+D+E)		408,308	520,530	432,529	▲ 88,001	24,221
支 出	1. 食費(飲食会費は含まない)	56,004	61,488	59,723	▲ 1,765	3,719
	2. 住居費(家賃、駐車場、修繕)	23,987	15,587	14,012	▲ 1,575	▲ 9,975
	3. 水道・光熱費(電気、ガス、上下水道、灯油など)	29,133	28,482	28,528	46	▲ 605
	4. 生活用品(生活雑貨、家事消耗品など)	12,736	12,845	12,926	81	190
	5. 被服・装飾費(衣服、アクセサリ等)	10,566	9,346	11,680	2,334	1,114
	6. 医療・介護・理美容(通院、医薬品など)	13,763	14,638	13,896	▲ 742	133
	7. 交通費1(バス、鉄道、飛行機、高速道路料金など)	2,489	4,207	5,002	795	2,513
	8. 交通費2(ガソリン代)	18,431	18,574	18,728	154	297
	9. 自動車関連費用(車検、メンテナンス、タイヤなど)	25,425	11,469	20,795	9,326	▲ 4,630
	10. 通信費(電話、新聞、受信料、プロバイダー料金など)	20,398	20,648	20,433	▲ 215	35
	11. 教育費(授業料、教材費、学習塾、部活費用など)	11,940	11,144	12,080	936	140
	12. 育児費(子ども用品、保育園、幼稚園など)	5,509	4,096	4,079	▲ 17	▲ 1,430
	13. 交際費(飲食会費、贈答品、冠婚葬祭費など)	12,620	17,379	12,254	▲ 5,125	▲ 366
	14. 娯楽、趣味(旅行、レジャー、映画鑑賞など)	15,826	18,007	13,385	▲ 4,622	▲ 2,441
	15. 習い事(英会話、料理教室、スポーツクラブなど)	3,220	3,323	2,686	▲ 637	▲ 534
	16. 高額商品(パソコン、家電、家具、インテリアなど)	6,837	4,094	5,932	1,838	▲ 905
	17. 金融商品1(株、国債、外貨、金など)	3,902	5,078	2,855	▲ 2,223	▲ 1,047
	18. 金融商品2(投資信託、変額・定額年金保険)	8,983	58,530	16,159	▲ 42,371	7,176
	19. 借入返済1(住宅ローン)	35,500	37,185	32,827	▲ 4,358	▲ 2,673
	20. 借入返済2(自動車、学資、カードローン)	11,836	16,202	33,834	17,632	21,998
	21. 税金、各種保険料支払い(給与天引き以外)	30,292	61,920	30,379	▲ 31,541	87
	22. 身内への仕送り(学生など)	5,319	8,236	11,437	3,201	6,118
	23. 小遣い、その他	27,133	32,439	28,030	▲ 4,409	897
II. 支出計		391,849	474,917	411,660	▲ 63,257	19,811
平均消費性向(支出計÷収入計×100)		96.0%	91.2%	95.2%	4.0%	▲0.8%
平均貯蓄性向(1-平均消費性向)		4.0%	8.8%	4.8%	▲4.0%	0.8%

図表 11 家計の収支と平均消費性向の推移



家計簿調査によれば、収入面では可処分所得（収入の手取り額）が 433 千円と前年同期比で 24 千円の増加となった。勤労収入では、「世帯主の勤労収入合計（手取り額）」が前年同期比で 4 千円の増加、「世帯員の勤労収入合計（手取り額）」が 17 千円の増加となり、「世帯勤労収入合計（手取り額）」は 386 千円で前年同期から 21 千円の増加となった。「その他収入（控除後）」については内訳をみると、増加額の大きな項目は「借入れ（カードローン、キャッシング）」（前年同期比 6 千円増加）や「有価証券売却・解約金（株、投資信託など）」（前年同期比 5 千円増加）となり、減少額の大きな項目は「保険満期返戻金」（前年同期比 5 千円減少）となった。

支出面では、支出計が 412 千円と前年同期比で 20 千円の増加となった。内訳をみると、増加額が大きな項目は「借入返済 2（自動車、学資、カードローン）」（前年同期比 22 千円増加）や「金融商品 2（投資信託、変額・定額年金保険）」（前年同期比 7 千円増加）となり、減少額の大きな項目は「住居費（家賃、駐車場、修繕）」（前年同期比 10 千円減少）となった。

その結果、平均消費性向（家計支出/可処分所得）は 95.2%となり、前年同期に比べて 0.8 ポイントの低下となった。

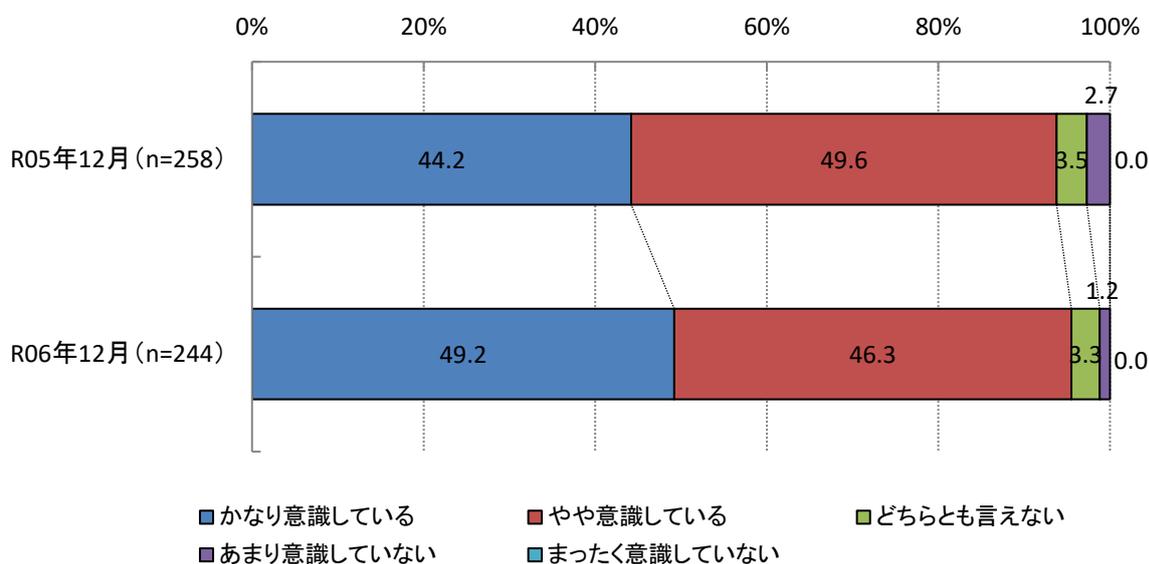
V. 特別調査

1. 節約の意識について

(1) 節約の意識について

日々の生活でどの程度節約を意識しているか尋ねたところ、「かなり意識している」が49.2%と前年に比べ5.0ポイント上昇した一方、「やや意識している」は3.3ポイント低下し、46.3%となった。節約を意識している世帯（「かなり意識している」+「やや意識している」を合わせた割合）は95.5%と、依然として高い割合を占めている。また、「まったく意識していない」は0.0%となり、程度の差はあるものの、前年に引き続きすべての人が節約を意識している結果となった。

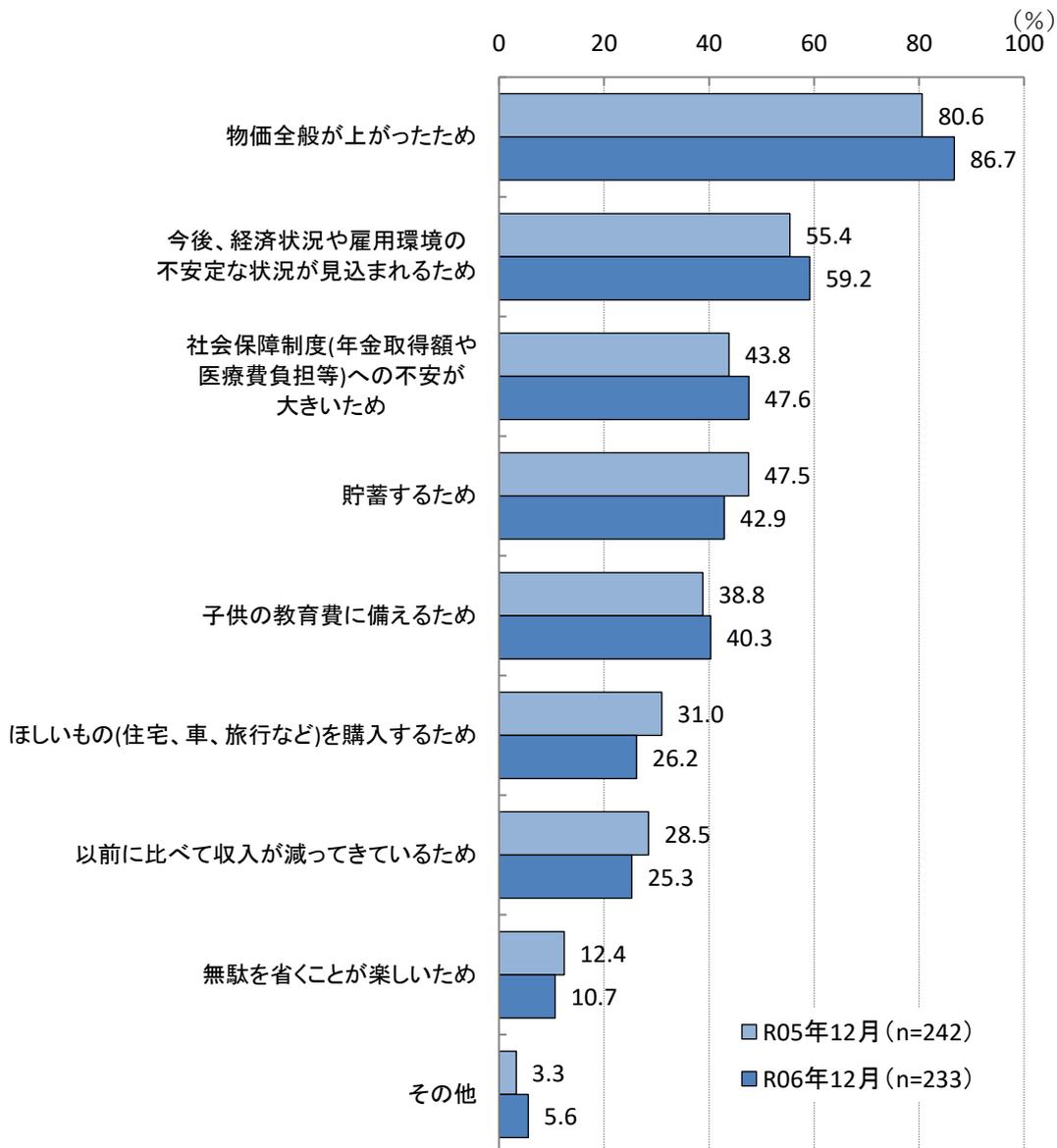
図表 12 節約の意識



（２）節約を意識している理由

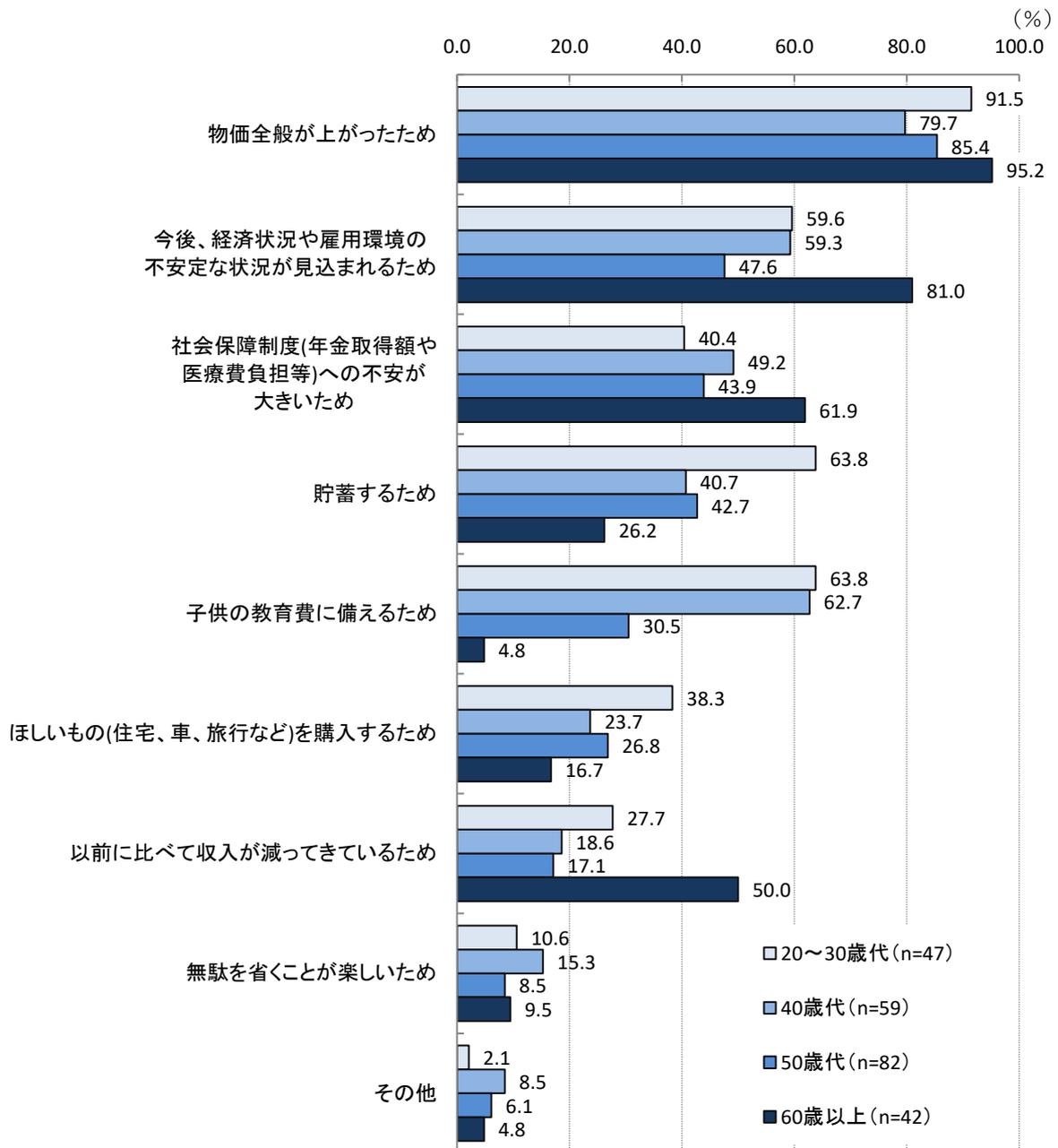
（１）で節約を意識していると回答した世帯に対して、その理由を尋ねた（複数回答）ところ、「物価全般が上がったため」が86.7%と最も高く、次いで「今後、経済状況や雇用環境の不安定な状況が見込まれるため」（59.2%）、「社会保障制度（年金取得額や医療費負担等）への不安が大きいため」（47.6%）と続いている。前回の調査に引き続き、2位の「今後、経済状況や雇用環境の不安定な状況が見込まれるため」が過半数を超えて高い割合を占める、「物価全般が上がったため」は唯一8割を超えて1位となるなど、前年から継続して物価上昇に伴う家計負担の増加や先行きへの警戒感が反映されたとみられる。

図表 13 節約を意識している理由（複数回答）



次に、世帯主の年齢別に節約を意識している理由をみると、全体で1位の「物価全般が上がったため」がすべての年代で7割を超えて1位となっている。全体で2位の「今後、経済状況や雇用環境の不安定な状況が見込まれるため」は、50歳代と60歳以上で2位、40歳代で3位、20～30歳代で4位と、年齢の高い世代ほど順位が高くなった。全体で3位の「社会保障制度（年金取得額や医療費負担等）への不安が大きいため」は、60歳以上で6割台と高い割合を占めている。一方で、全体で5位の「子供の教育費に備えるため」は20～30歳代と40歳代で6割を超えて2位となる（20～30歳代では同率2位に「貯蓄するため」）など、各年代で予想される出費内容に合わせて節約を意識している様子が見えてくる。

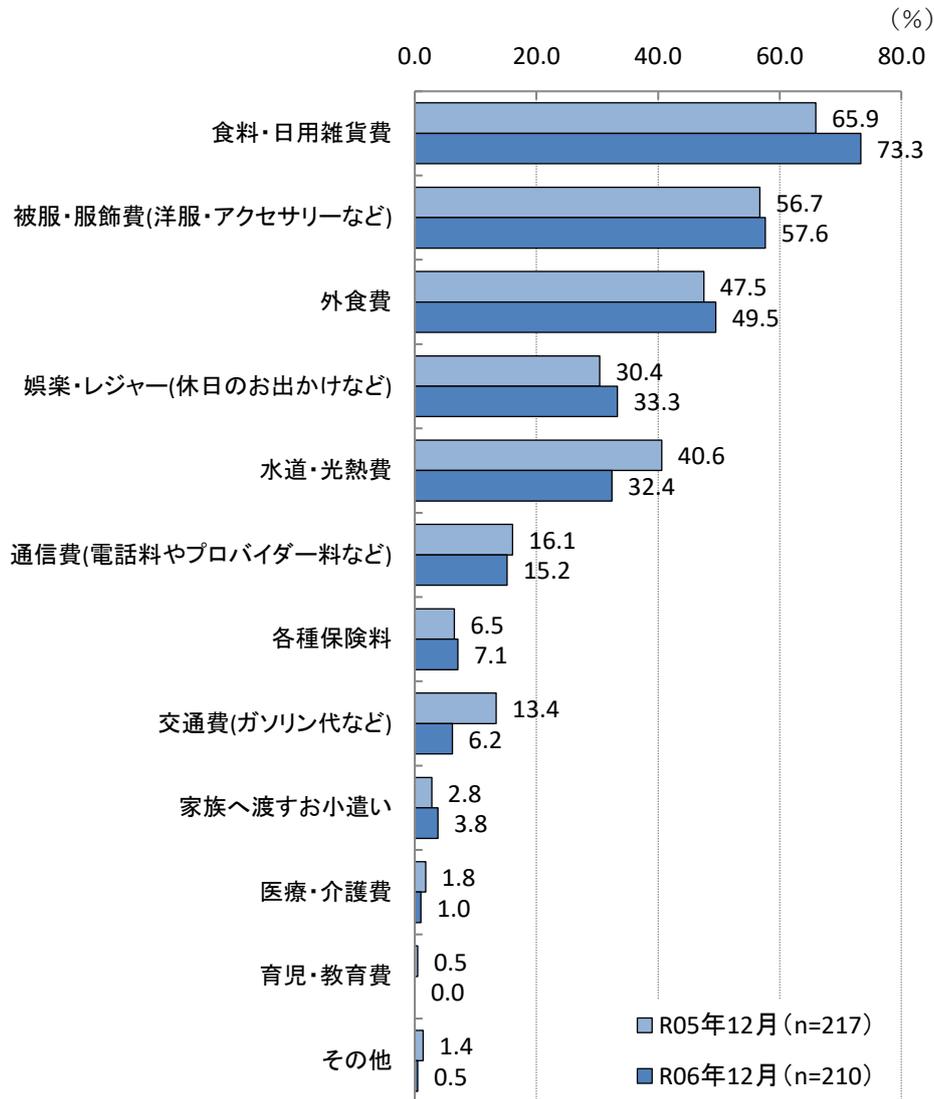
図表 14 世帯主の年齢別・節約を意識している理由（複数回答）



(3) 節約を特に意識する出費

特に節約を意識している出費について尋ねた（複数回答）ところ、「食料・日用雑貨費」が73.3%と最も高く、次いで「被服・服飾費（洋服・アクセサリなど）」（57.6%）、「外食費」（49.5%）、「娯楽・レジャー（休日のお出かけなど）」（33.3%）と続いている。前年と比較して、「水道・光熱費」や「交通費（ガソリン代など）」は低下した一方、「食料・日用雑貨費」は7.4ポイント上昇し、唯一7割を超えて1位となっており、依然として高い割合を占めている。

図表 15 節約を特に意識する出費（複数回答）



VI. 調査の概要

1. 調査の目的

山形県民の暮らし向きや今後の見通しについて時系列的に捉えるとともに、具体的な商品やサービスに対する支出動向を把握することにより、景気判断等の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の内容

- ◆ 郵送調査専用モニターを利用したアンケート調査
- ◆ モニター世帯数：258世帯 有効回答数：245世帯 回答率：94.5%

3. 回答モニター属性



4. 調査の対象者

- ・山形県内に在住する勤労者（サラリーマン）世帯（世帯人数2人以上の世帯）

5. 調査期間

- ・令和6年12月1日（日）～16日（月）

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研
 リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子
 〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F
 TEL：023-626-9017 FAX：023-626-9038
 E-mail：kenkyuu@fir.co.jp URL：https://www.fir.co.jp/